

主要損害保険会社の令和4年9月期決算の概要

1. 損益の状況（連結）

- 正味収入保険料は、国内における火災保険の料率改定前の契約増加や、海外保険事業の好調に円安が重なったこと等により、前年同期に比べ増収。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は、国内自然災害や新型コロナウイルス感染症に関する保険金の増加等から、前年同期に比べ減益。

（単位：億円）

	令和2年9月期	令和3年9月期	令和4年9月期	前年同期比
正味収入保険料	52,474	55,506	64,785	9,279
経常利益	3,021	7,396	708	▲ 6,687
特別損益	▲ 333	▲ 117	34	152
親会社株主に帰属する中間純利益	1,986	5,248	329	▲ 4,919

2. 健全性の状況（単体）

- ソルベンシー・マージン比率は、その他有価証券評価差額金の減少等から、前年度末に比べ5.0%ポイント低下。

（単位：%）

	令和3年3月期	令和4年3月期	令和4年9月期	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率	770.0	764.0	759.0	▲ 5.0Pt

（注）「連結」は、東京海上HD、MS&AD HD、SOMPO HDの3グループを集計。

「単体」は、東京海上日動、三井住友海上、あいおいニッセイ同和及び損保ジャパンの4社を集計。